

# 長畑ひろのり News vol.140



(C) 2013 Kohama Studio

## 47都道府県幸福度ランキング③

前号に引き続きです。内容は47都道府県と比べた**大阪府の順位**を表にしたものとなります。元のデータは、2012年より2年ごとに発行している「2018年版 全47都道府県幸福度ランキング」からです。



### ・大阪府 (幸福度ランキング総合43位)

分野別における生活(総合)の全国順位は、1位が富山県、2位が鳥取県、3位が島根県、4位が岐阜県、5位が福井県、6位が滋賀県、7位が新潟県、8位が山形県、9位が長野県、10位が三重県です。この書籍によりますと、「ベスト10に日本海側の県が6県も入った一方で、太平洋側は三重県のみと、日本海側の生活環境の良さが表れる結果となった。」

分野別における教育(総合)の全国順位は、1位が福井県、2位が富山県、3位が秋田県、4位が石川県、5位が愛知県と、北陸3県が上位を占める結果となっています。

大阪府については43位と問題です。特に、**現行指標**である学力(44位)を良くするには、**先行指標**である**教員1人あたり児童生徒数(40位)**から取り組む必要があると考えます。そこで調べますと、他県との差(左下の表)が明らかになりました。数値は、2019年2月15日(調査年度は2017年)公開の政府統計からです。

#### 教員1人あたりの小学校児童数

1位：島根県  
10.99人  
39位：大阪府  
15.87人

#### 教員1人あたりの中学校生徒数

1位：高知県  
8.64人  
37位：大阪府  
13.80人

分野	領域	現行指標			先行指標						
		指標	順位	指標	順位	指標					
生活	個人(家族)	持ち家比率	44位	生活保護受給率	47位	待機児童率	31位	一人暮らし高齢者率	45位	インターネット人口普及率	7位
		45位									
教育	地域	汚水処理人口普及率	7位	道路整備率	2位	一般廃棄物リサイクル率	46位	エネルギー消費量	18位	地縁団体数	40位
		15位									
教育	学校	学力	44位	不登校児童生徒率	41位	司書教諭発令率	5位	大学進学率	6位	教員一人あたり児童生徒数	40位
		29位									
教育	社会	社会教育費	44位	社会教育学校・講座数	43位	学童保育設置率	15位	余裕教室活用率	29位	悩みやストレスのある者の率	44位
		43位									

※指標につきましては、現状における経済・社会の安定度を示すものとして想定する「**現行指標**」と、将来あるべき姿の実現を見据えた未来への投資状況を示す「**先行指標**」に分類しています。

## 6月定例議会における質問①

6月7日より25日の間に、定例議会と常任委員会が行われました。その中から報告します。

### ・個別施設計画について (一般質問より)

この質問の報告に入る前に、今までの経過を簡単に説明します。・・・

平成18年10月13日、四條畷市と社会福祉法人との間で、旧四條畷荘(面積5,996.23㎡・83,450円/㎡)と旧北出小学校の一部(面積5,569.30㎡・89,850円/㎡)と土地交換契約を締結。鑑定評価の土地価格は両方とも約5億円で、等価交換となった。その後、旧北出小学校の一部は建て替えられ特別養護老人ホーム四條畷荘となり、旧四條畷荘は解体され更地となる。その後、何度も下記の額で入札を行うが不調が続く、現在も更地のまま残っている状況です。

平成17年度の鑑定額	5億385,394円
平成20年度の最低売却額	4億6,300万円
平成23,24,25年度の最低売却額	2億8,200万円
平成26,27年度の最低売却額	2億6,000万円
平成28年度の最低売却額	2億800万円



毎月発行している“長畑ひろのりNews”を、約半年ごとに送っています。送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280  
e-mail sky@nagahata.jp





← 西側に  
そびえ立つ擁壁



(表面より)

・・・以上の点をもとに、私が平成29年9月定例議会において一般質問をし、鑑定額から下がり続ける売却の件や西側にそびえ立つ擁壁の不備を指摘しました。

【長畑質問】個別施設計画において、旧四條畷荘と旧水道配水池は2029年度までに売却となっているが予定売却額は、

【総務部長答弁】普通財産先着順売却を実施した平成28年12月時点においては、旧四條畷荘用地を2億800万円、旧水道配水池用地を1,500万円と見込んでいた。以降は全ての公共用地の利活用策を検討するため、一旦、売却を留保していたが公共施設用地として適さないものと判断し、以前と同様、売却していく方針とした。このような経過のもと、平成28年12月以降は価格の時点修正を行っていない。

【長畑質問】旧水道配水池用地の面積と平米単価は、

【総務部長答弁】面積については757.60㎡で、1㎡当たり19,799円。(※坪単価は約65,500円)

【長畑質問】あまりにも安いのに驚いた。また、平成28年12月時点での価格しか示されなかったが、計画を作るのに価格については一切の検討もないまま売却額となったのか。

【総務部長答弁】平成28年12月時点での売却をそのまま現在も見込んでいる。

【長畑質問】平成29年9月定例議会の答弁で「来年度擁壁の安全性を確認する調査を行ってまいりたい」とのことだったが、その結果は、

【総務部長答弁】平成30年度に入札を2回実施したが不調となり、本年度予算に再計上し調査を実施する予定。

【長畑質問】質問ばかりしても先に行かないので、売却したところで本市の財政に良い影響があると思えない旧四條畷荘

と旧水道配水池を、災害時における応急仮設住宅のための用地として確保しておくよう私から提案する。

旧四條畷荘の土地は、西側にある擁壁が問題だが、応急仮設住宅を東側に建てれば問題はなく、西側は駐車場や支援物資を置く場所に使える。この提案についてどう考えるか。

【総務部長答弁】現時点では売り払いを行いたく、理由は財源確保。議員の意見も参考としつつ、最終的には原案を成案化したいと考える。

【長畑質問】この土地がなかった場合、応急仮設住宅を建てる土地は他に考えているのか。

【都市整備部長答弁】市総合公園等の名前があがっている。

【市民生活部長答弁】防災協力農地を拡大していきたい。

【長畑質問】防災協力農地は、私が農業委員だった時には1件だったが、増えているのか。

【市民生活部長答弁】昨年度2件の協力ももらい、徐々に増やしていきたいと考える。

【長畑要望】真剣に売却しようとするれば平成28年12月時点の売却額など叶いもしない旧四條畷荘と旧水道配水池の土地を、無駄にすることなく応急仮設住宅用地として確保しておく、この私の提案を個別施設計画に取り入れて頂くことを要望する。

そして、この6月定例議会では、個別施設計画について多くの質問が行われた。各議員の質問に対し、間違いなく個別施設計画に反映して頂くことを正副議長の役職につく一人として要望する。

### 議員年金制度

